



# ハイレソンスマフラー Ver. R

## MS153-18001

'10.04 施行・後付マフラーに関する新騒音規制対応商品 取付取扱説明書

この度は86用TRDハイレソンスマフラーをお買い上げ頂きありがとうございます。  
 開封時に必ず構成部品がある事、及び、商品の外観、傷、凹み等をご確認下さい。取付け後に判明しましても対応しかねる場合がございます。  
 本書には上記品の取付要領と取扱いについて記載してあります。  
 取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付、取扱を実施して下さい。なお本書は必ずお客様にお渡し下さい。

**★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行なって下さい。**

### ■ 品番・適合

品番	適合車種	型式	エンジン	年式	備考
MS153-18001	86	ZN6	FA20	'12.04～	

### ■ 構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	テールパイプマフラー		1	
②	ガスケット		1	
③	ナット		2	マフラーフランジ締結用 M10×1.25
④	取付・取扱説明書(本書)		1	本書は大切に保管して下さい。

- ・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。<http://www.trdparts.jp/>
- ・マフラーの取付にはリヤバンパーの1部削除が必要になりますので、別売のリヤバンパースポイラー(MS343-18001)又は、マフラーガーニッシュ(MS343-18003)の同時装着が必要になります。
- ・構成部品②③は再使用不可部品になります。補給の際は、修理書を参照して該当の純正部品をご使用ください。

### ■ 取付上の注意

- ・本商品は「道路運送車両法の保安基準」を満足していますので、一般公道でも安心してご使用頂ける保安基準適合マフラーです。但し、マフラー以外の改造を行っている場合、または使用状況等によってはその限りではない場合もありますのでご了承下さい。  
 TRDサスペンション、エアロパーツとの同時装着は下記警告を遵守の場合は問題ございません。
- ・保安基準適合の為、取付は純正と同様、触媒やシールド等を取外さず必ず上記適合車種に取付けて下さい。

#### △警告

この内容に従わず、誤った取付、取扱を行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。

#### △注意

この内容に従わず、誤った取付取扱を行うと人が傷害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。

- △警告 車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高90mm**を確保して下さい。
- △警告 車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合は、必ず現車にて**最低地上高90mm**の確保を行って下さい。
- △警告 本商品の分解・加工は絶対しないで下さい。破損や事故の原因となる場合があります。
- △警告 本品を適合車種以外には絶対に使用しないで下さい。破損や故障の原因となる場合があります。
- △注意 本商品の交換、取付作業は必ず専門の整備工場で作業を行って下さい。
- △注意 交換の際は、必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守って作業を行って下さい。
- △注意 脱着の際に、マフラーサポートに潤滑剤は使用しないで下さい。  
取付け時に潤滑剤が残っていると、脱落の原因となる場合があります。
- △注意 交換の際は、エンジンを停止して冷却を確認してから行って下さい。火傷や事故の原因となる場合があります。
- △注意 取付後は換気の良いところで排気漏れや干渉がないか必ず確認して下さい。正しく装着されていないと保安基準に適合することが出来ません。

## 構成図

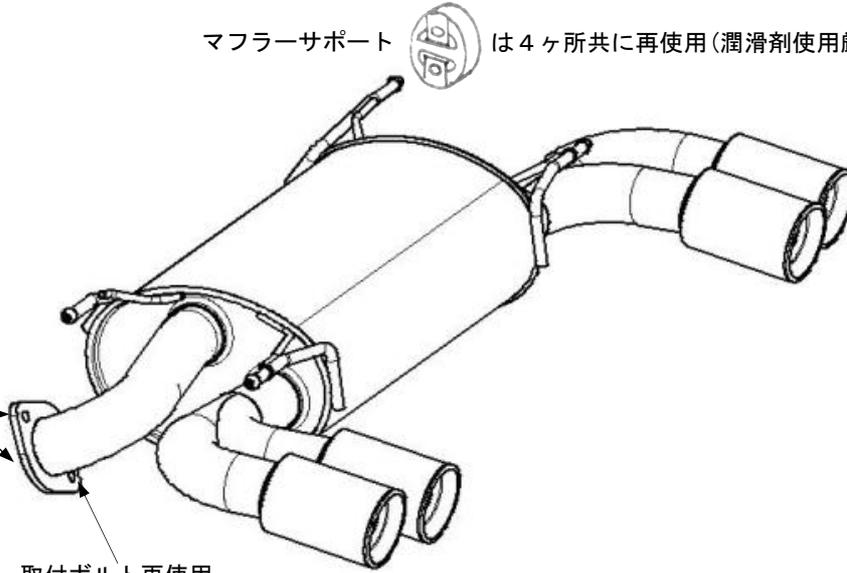
### ⚠(作業注意事項)

サポート取付時、マフラー側・車両側共に潤滑剤は使用しないで下さい。  
外す際に潤滑剤を使用した時は、きれいに清掃・脱脂した後に取付けて下さい。

マフラーサポート  は4ヶ所共に再使用(潤滑剤使用厳禁)

ガスケット・ナットは  
同梱品の②③に交換

取付ボルト再使用



## ■仕様

エキゾーストパイプ：パイプ部 φ60.5 (SUS)  
出口テール：テール部 φ86.0 (SUS)

## ■取付要領

(1) 純正のテールパイプを修理書(トヨタ自動車㈱ 発行)に従って取外す。

⚠注意：車両側パイプと純正テールパイプとの締結ボルト、サポートゴムは再使用します。  
ガスケット・ナットは同梱品②③に交換して下さい。

(2) 別売りのリヤバンパスポイラー又は、マフラーガーニッシュに同梱の型紙に合わせバンパーの  
左右をエアソー等でカットし、リアバンパスポイラー又は、ガーニッシュを取付ける。

(3) 構成品①のテールパイプASSYを車両側のパイプに取付け、サポートゴムを架け保持する。

⚠注意：車両側パイプとの締結は、仮締めとして下さい。

### ⚠警告

本車両のマフラーサポートブラケットはマフラー本体、車両側ブラケット共に車両進行方向  
に対し横方向の向きで設置されています。その為に純正マフラーの取外し、TRDマフラー  
取付けの際に使用した潤滑剤が付着していると、走行時に横方向の強い力が加わった場合等  
リヤバンパーとの干渉に至る可能性があります。サポートゴム取付時に潤滑剤を使用する事  
はお止め下さい。

(4) 左右のテールパイプ出口位置(リヤバンパスポイラー又は、マフラーガーニッシュと干渉せず、  
極端な偏り無き事)を確認し、車両側パイプとの締結ボルトを **48Nm** で締付ける。

(5) 装着後、走行する前にアイドル状態で15分程の暖機運転を行った後、5Km程の通常走行を  
実施し、各部のボルトに緩みの無い事、テール部の位置に変化の無い事を確認する。

⚠警告：取付完了後、マフラーを左右に数回動かしサポートゴムに横ずれが生じない事を確認して  
下さい。

## ■取り扱い上の注意（ご使用になるお客様へ）

- △警告 車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高90mm**を確保して下さい。
- △警告 車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合は、必ず現車にて**最低地上高90mm**の確保を行って下さい。
- △注意 取付後初期は走行時、異臭の発生がありますが異常ではありません。いつまでも消えない場合は整備工場にて点検を受けて下さい。そのまま走行を続けると、破損や事故の原因となります場合があります。
- △注意 本商品を取付けますとエンジン回転のフィーリングに変化が生じます。車両に慣れるまではエンジン回転に十分注意して走行して下さい。事故の原因となる場合があります。
- △注意 枯れ草や紙屑など燃えやすい物の近くを走行したり駐車はしないで下さい。火災や事故の原因となる場合があります。
- △注意 運転中に異音、振動等が発生した場合は、直ちに車を安全な場所に停車させ、専門の整備工場にて点検を行って下さい。そのまま走行を続けると、破損や事故の原因となります場合があります。
- △注意 マフラーに凍結防止剤（塩化カルシウム等）が付着した場合は速やかに流水洗浄して下さい。付着したままで御使用になられますと、マフラーの変色および錆の原因となります。
- △注意 通常の使用におきましても排気管出口（テール出口部）は冷熱の繰返しにより、多少の黄ばみが発生する場合がありますが、異常ではありません。
- △注意 走行直後のマフラーは非常に高温となっております。その為、触れると火傷の恐れがあります。荷物の出し入れやお子様の接近等、十分に注意して下さい。